

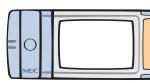
※接続する無線LANアクセスポイント（親機）がWD700/DL180シリーズの場合は、「らくらく無線スタート」対応機種用の「無線LANつなぎかたガイド」(別紙)を参照してください。

# 無線LANつなぎかたガイド

本紙では、無線LANアクセスポイント（親機）に対して、パソコンに取り付ける「Aterm WL54AG-SD」を無線LAN端末（子機）または無線LANカードと呼びます。この取扱説明書は、古紙配合率100%の再生紙を使用しています。

## 箱の中身をチェックしよう

□ WL54AG (1枚)  
※無線LANアクセスポイント（親機）に装着して使用します。



□ WL54AG-SD (1枚)



□ ご使用になる前に(別冊)



□ 無線LANつなぎかたガイド (2枚)

- ・「らくらく無線スタート」非対応機種用(本紙)
- ・「らくらく無線スタート」対応機種用(別紙)

□ CD-ROM (ユーティリティ集)



無線LANをご利用になるには、無線LANアクセスポイント（親機）の拡張カードスロットに「WL54AG」を装着し、無線LAN端末（子機）として使用する「WL54AG-SD」をパソコンに取り付けて、無線LAN端末（子機）から無線LANアクセスポイント（親機）への接続・設定を行う必要があります。本紙を参照して、無線LANの接続・設定を行ってください。

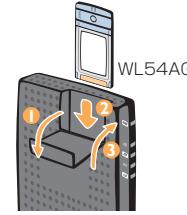
→ 無線LANアクセスポイント（親機）側の設定を完了させてから、無線LANの設定を行うことをお勧めします。(無線LANアクセスポイント（親機）側の設定については、無線LANアクセスポイント（親機）に添付の「つなぎかたガイド」を参照してください。)

## WL54AGについて

WL54AGは、WL54AGに対応した無線LANアクセスポイント（親機）の拡張カードスロットに装着することで、無線LANアクセスポイント（親機）の無線LAN機能を使用可能にします。

次の手順で無線LANアクセスポイント（親機）へ取り付けてください。

① 無線LANアクセスポイント（親機）の電源ジャックを取り外した状態でWL54AGを取り付けてください。



※装置図は一例です。

② WL54AGを拡張カードスロットに奥まで確実に入れる

③ 拡張カードスロットカバーを元に戻す

④ 無線LANアクセスポイント（親機）の電源を入れる

⑤ 無線LANアクセスポイント（親機）に装着するWL54AGは、無線LANを始める際の設定の直前に装着してください。

→ 無線LANアクセスポイント（親機）にWL54AGを装着したまま無線セキュリティを行わず、そのままにしておくと、第三者から無線ネットワークに入り込まれる可能性があります。

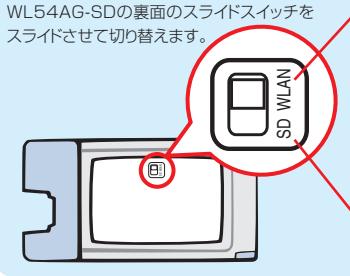
## WL54AG-SDについて

WL54AG-SDは、裏面のスライドスイッチを切り替えることで、無線LAN端末（子機）またはSDアダプタとしてご利用いただけます。

※本紙では、無線LAN端末（子機）として使用しますので、「WLAN」側に切り替えてください。

### 切り替えかた

WL54AG-SDの裏面のスライドスイッチをスライドさせて切り替えます。



### 「WLAN」 無線LAN端末（子機）としてご利用になる場合

CardBus（カードバス）準拠のパソコンのPCカードスロットに接続し、IEEE802.11a、IEEE802.11b、IEEE802.11gに対応している無線LANアクセスポイント（親機）と、無線LAN通信ができます。スライドスイッチを「WLAN」側に切り替えたことを確認してから、本紙にて無線LANの接続・設定を行ってください。

### Windows® 98SEでご利用いただく場合のご注意

Windows® 98SE搭載のパソコンでAterm WL54AG-SDを無線LAN端末（子機）としてご利用いただく場合は、お手数ですが、いったん有線（ETHERNETケーブル等）でパソコンと無線LANアクセスポイント（親機）を接続してインターネットへ接続していただき、下記URLのホームページに記載の内容にしたがってWMIのインストールを行ってください。

<http://www.aterm.jp/kddi/54ag-sd/>

※ダウンロード・インストールはお客様の責任において実施をお願いいたします。  
ただし、パソコンメーカーによりWindows® 98SEが正式サポートされていない等、お客様のパソコンの状況によっては本カードをご利用いただけない場合があります。

### SDアダプタとしてご利用になる場合

SDアダプタとしてご利用になる場合は、「ご使用になる前に」(別冊)をご覧ください。

以下の説明では、無線LAN端末（子機）として使用する「WL54AG-SD（無線LANカード）」のことを「WL54AG（無線LANカード）」と呼びます。

## パソコン側での準備をしよう

操作方法など不明な場合は、各パソコンメーカー等にお問い合わせください。

### ●CardBus（カードバス）準拠のPCカードスロット、LANポートの準備

WL54AG（無線LANカード）から無線で接続する場合は、CardBus（カードバス）準拠のPCカードスロットがパソコンに装備されていることを確認してください。また、ETHERNETインターフェースを搭載したパソコンの場合、LANカードおよびLANポート機能を停止させないと無線LAN端末（子機）のドライバが正しくインストールできない場合があります。LANカードおよびLANポート機能を停止させてから、設定してください。

### ●ファイアウォールなど、すべてのソフトの停止

本商品の設定の前に、ファイアウォール、ウィルスチェック等のソフトはいったん停止してください。インターネットに接続できたら、もう一度必要な設定を行ってください。停止しない（起動したままでいる）と無線LANアクセスポイント（親機）の設定ができなかったり、通信が正常に行えない場合があります。（パソコンによっては、ファイアウォール、ウィルスチェック等のソフトがあらかじめインストールされている場合があります。）停止や設定の方法はソフトによって異なりますので、ソフトまたはパソコンのメーカーにお問い合わせください。

### ●パソコンのネットワークの確認

設定する際は、パソコンのネットワークの設定が「IPアドレスを自動的に取得する」「DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する」になっている必要があります。確認のしかたについては無線LANアクセスポイント（親機）に添付の「お使いになる前に」にある「トラブルシューティング」の「パソコンのネットワークを設定する」を参照してください。

### ●WWWブラウザの設定

WWWブラウザ(Internet Explorer等)の接続設定を「ダイヤルしない」「プロキシサーバーを使用しない」にしておいてください。(下記参照)

また、JavaScriptを有効にする設定にしておいてください。

(無線LANアクセスポイント（親機）に添付の「お使いになる前に」にある「トラブルシューティング」の「JavaScript®の設定を確認する」)を参照

### ■WWWブラウザの設定・確認のしかた

WWWブラウザ(Internet Explorer等)の接続設定を「ダイヤルしない」「プロキシサーバーを使用しない」にします。

右記はWindows®XP/2000 Professional/Media Center Edition Internet Explorer Ver.6.0をご利用の場合の設定方法の一例です。お客様の接続環境(プロバイダやソフトウェア等)によっても変わりますので、詳細はプロバイダやソフ

トウェアメーカーにお問い合わせください。

※プロバイダからプロキシの設定指示があった場合は、従ってください。

## 2 サテライトマネージャとWL54AG（無線LANカード）のドライバをインストールする

### サテライトマネージャをインストールする

無線LAN端末（子機）を設定するためのユーティリティ「サテライトマネージャ」をパソコンにインストールします。ここでは、Windows® XPのパソコンの場合を例に説明しています。

1 Windows®を起動する

3 内容を確認して「閉じる」をクリックする



4 「Aterm WARPSTARユーティリティ」画面で「次へ」をクリックする



5 「次へ」をクリックする

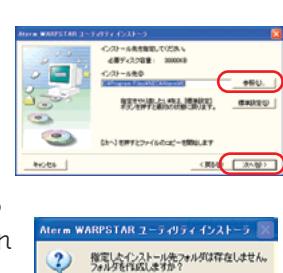


6 画面の同意書を読み、同意できる場合は「次へ」をクリックする



7 「WL54AG」を選択し、「らくらく無線スタートで無線LAN設定を行う」のチェックを外して、「次へ」をクリックする

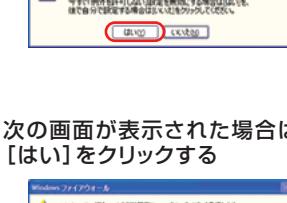
8 表示されたインストール先へインストールする場合は「次へ」をクリックする



インストール先を変更する場合は「参照」をクリックして変更してください。

9 「はい」をクリックする  
インストールが開始されます。

10 次の画面が表示された場合は、「[はい]」をクリックする



11 次の画面が表示された場合は、「[はい]」をクリックする

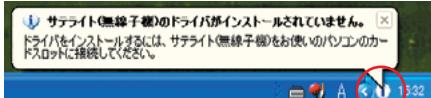


12 「READMEの表示」と「サテライトマネージャを常駐させる」にチェックが入っている(?)ことを確認し、「完了」をクリックする



### WL54AG（無線LANカード）のドライバをインストールする

1 通知領域(タスクトレイ)にサテライトマネージャが表示されることを確認する



2 WL54AG（無線LANカード）をパソコンに取り付ける

ドライバが自動的にインストールされます。ドライバ自動インストール中は、さまざまな画面が表示されますが、ドライバのインストールが完了するまで操作しないでください。



WL54AG（無線LANカード）を取り付ける

パソコンのPCカードスロットにWL54AG（無線LANカード）を取り付けます。WL54AG（無線LANカード）裏面のスライドスイッチが「WLAN」側になっていることを確認し、コネクタの向きに注意して、しっかりと奥まで差し込んでください。

ドライバをアンインストール（削除）したいときは  
[スタート] - [すべてのプログラム] - [Aterm WARPSTARユーティリティ] - [ドライバのアンインストール] をクリックして、画面に従ってアンインストールをしてください。

裏面につづく

## 3

## 無線LANアクセスポイント（親機）に接続しよう

ここではWindows® XPのパソコンにWL54AG（無線LANカード）を接続してご使用になる場合を例に説明しています。

## 無線LANアクセスポイント（親機）に接続するための無線設定を行う

無線LANアクセスポイント（親機）との無線設定を行います。

I 次の画面が表示されることを確認する



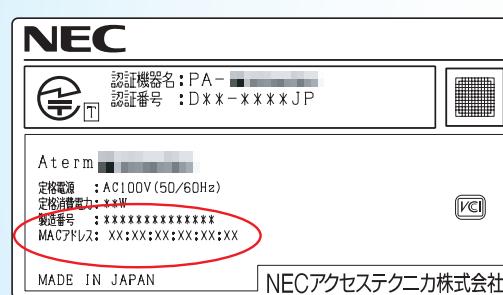
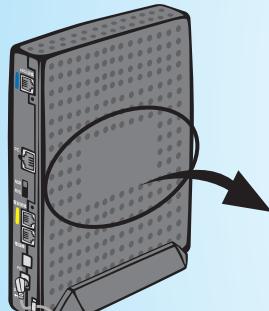
① [スタート] - [プログラム] - [AtermWARPSTARユーティリティ] - [サテライトマネージャ] をクリックしてサテライトマネージャを起動する  
② 通知領域（タスクトレイ）にあるサテライトマネージャのアイコンを右クリックし、[プロパティ] を選択する  
③ [ネットワーク一覧] タブをクリックする

II 接続する無線LANアクセスポイント（親機）のネットワーク名をクリックする



※複数の無線LANアクセスポイント（親機）がある場合は、ネットワーク名も複数表示されます。  
※無線LANアクセスポイント（親機）の無線LAN設定で「ESS-IDステルス機能（SSIDの隠蔽）」が有効になっていると、ネットワークの一覧にネットワーク名が表示されません。  
※無線LANアクセスポイント（親機）のネットワーク名が表示されない場合は、[新規登録]を選択して[次へ]をクリックし、手順4のIIへ進んで[ネットワーク名（SSID）] の欄に直接ネットワーク名を入力してください。

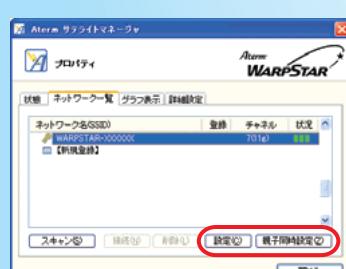
工場出荷時のネットワーク名は、「WARPSTAR-XXXXXX」です。（XXXXXXは無線LANアクセスポイント（親機）の側面に記載されているMACアドレスの下6桁です。）



※装置図およびラベルは一例です。

III はじめて無線LANをご利用になる場合は、[親子同時設定] をクリックする

2台目以降の無線LAN端末（子機）の増設など、無線LANアクセスポイント（親機）の無線設定を変更しない場合は、[設定] をクリックする



## 4

## 無線LANアクセスポイント（親機）の設定に合わせて無線LANの設定を行い、[登録] をクリックする

- 手順3で【親子同時設定】をクリックした場合 → I で設定します。
- 手順3で【設定】をクリックした場合 → II で設定します。

## I 無線LANアクセスポイント（親機）も同時に設定する場合

手順3で【親子同時設定】をクリックした場合の設定です。（→はじめて無線LANを利用される場合など）



すでに無線LANアクセスポイント（親機）が無線設定済みの場合は、以下の画面が表示されます。無線LANアクセスポイント（親機）に設定してある暗号化モードおよび暗号化キーを入力して[接続] をクリックします。

※入力した暗号化キーが無線LANアクセスポイント（親機）と一致しているれば、上の画面が表示されますので、設定を行ってください。



- [ネットワーク名（SSID）] を入力します。  
使用するネットワークの名称を入力します。手順2で使用するネットワーク名を選択した場合はそのままにしておきます。
- [無線動作モード] を選択します。  
ネットワーク内で使用する無線モードを [802.11g+b] [802.11g] [802.11a] から選択します。はじめて無線LANを利用される場合は、[802.11g+b] をご利用ください。（推奨）
- [チャネル番号] を選択します。  
無線LANアクセスポイント（親機）がネットワーク内で使用するチャネルを選択します。
- [暗号化] を設定します。  
[暗号化モード] で暗号化の方法を選択して、それぞれの項目を設定します。

- [暗号化モード] / [WPA-PSK (AES)]（推奨）  
※[暗号化モード] のプルダウンメニューに「WPA-PSK (TKIP)」、「WPA-PSK (AES)」がない場合は、「WEP」を選択してください。
- [暗号化キー] / 8~63桁の英数記号または64桁の16進数で入力します。

■無線LANアクセスポイント（親機）の底面に「無線LAN設定ペーパー」がある場合、[暗号化モード] で「WPA-PSK (AES)」を選択すると、暗号化キーの欄にキーが自動的に表示されますが、表示されたキーは消去して、入力してください。

※暗号化キーに使用できる文字は次の通りです。  
・8~63桁の場合：英数記号（0~9, a~f, A~Z, 下の記号）

!	%	)	-	:	?	]	{
"	&	*	.	<	@	^	
#	'	+	/	=	[	-	}
\$	(	:	>	\	~		

※「J」（バックスラッシュ）はパソコンの設定によっては「¥」と表示されます。

・64桁の場合：16進数（0~9, a~f, A~F）  
※入力した暗号化キーは忘れないように下記に記入しておくことをお勧めします。

## 記入欄

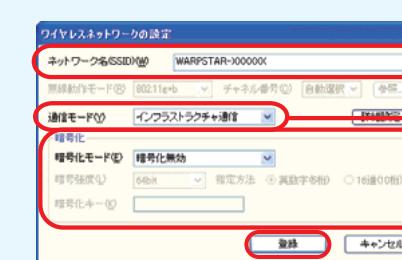
＜暗号化キーの入力例＞  
無線LANアクセスポイント（親機）の側面の主銘板（貼付されているシール）の製造番号など。  
(容易に解読されやすいキー[11111111]などはお勧めしません。)

## II 無線LAN端末（子機）のみ設定する場合

手順3で【設定】をクリックした場合の設定です。

（→2台目以降の無線LAN端末（子機）を増設するなど無線LANアクセスポイント（親機）の無線設定を変更しない場合）無線LANアクセスポイント（親機）の無線設定に合わせて設定します。

※暗号化の設定を行う場合は、必ず無線LANアクセスポイント（親機）側に先に設定してください。



- [ネットワーク名（SSID）] を入力します。  
無線LANアクセスポイント（親機）の設定に合わせてネットワーク名を入力します。手順2で使用するネットワーク名を選択した場合はそのままにしておきます。
- [通信モード] を選択します。  
インフラストラクチャ通信を選択します。
- [暗号化] を設定します。  
無線アクセスポイント（親機）に設定している同じ内容を入力して設定します。

※入力した暗号化キーは忘れないように下記に記入しておくことをお勧めします。

## 記入欄

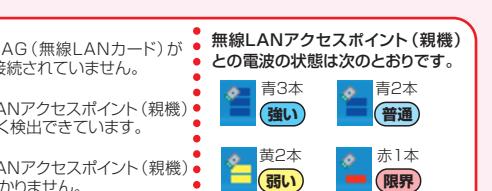
＜暗号化キーの入力例＞  
無線LANアクセスポイント（親機）の側面の主銘板（貼付されているシール）の製造番号など。  
(容易に解読されやすいキー[11111111]などはお勧めしません。)

## 無線LANアクセスポイント（親機）との接続状態を確認する

サテライトマネージャのアイコンで、無線LANアクセスポイント（親機）とWL54AG（無線LANカード）の通信状態を確認することができます。



- WL54AG（無線LANカード）が正しく接続されていません。
- 無線LANアクセスポイント（親機）が正しく検出できています。
- 無線LANアクセスポイント（親機）が見つかりません。



## 4 インターネットに接続しよう

インターネットに接続して接続状態を確認してみましょう。

- WWWブラウザ（Internet Explorer等）を起動する
- アドレスにURLを指定して、外部ホームページを開く  
例：<http://www.aterm.jp/kddi/54ag-sd/>



あとでWL54AG（無線LANカード）を取り外すときは、以下の操作でPCカードを取り外せる状態にしてから取り外してください。

- タスクトレイのPCカードアイコンをクリックします
- [NEC Aterm WL54AG (PA-WL/54AG) Wireless Network Adapterを安全に取り外します] をクリックします
- [NEC Aterm WL54AG (PA-WL/54AG) Wireless Network Adapterを安全に取り外すことができます] が表示されたら [X] をクリックして画面を閉じます
- WL54AG（無線LANカード）を取り外します

## 無線セキュリティ対策について

無線通信を行う場合は、無線LAN内のセキュリティ対策を行うことをお勧めします。無線LAN内のセキュリティがない状態では、離れた場所から、お使いの無線ネットワークに入り込まれる危険性があります。無線セキュリティ対策を行う際は、無線LANアクセスポイント（親機）側の取扱説明書等（「機能詳細ガイド」など）を参照してください。